

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2018

7

第32巻7号  
(通巻371号)



枝の先に風情のある赤紫色の小さな花が多数集まって咲いていますがシモツケの花です。梅雨時から初夏にかけて滲むような淡い色合の花を咲かせます。花言葉を調べてみたら「無駄」、「はかなさ」。ちょっと悲しい花言葉ですね。というのは、この花には繡線菊(シュウセンギク)という漢名があるからです。中国の戦国時代、韓の国に繡線という少女がいました。出征先の斉で捕らえられた父親を助けようと敵地に赴くと、父はすでに病死していたのです。そこで父親の墓のかたわらに咲いていた花を持ち帰って庭に植えました。すると夏がくると毎年きれいな花が咲いたのです。そこで人々はこの親孝行で可憐な少女の名前をとって、この花を「繡線菊」と呼んだということです。写真は南山会山岳部でハヶ岳山麓の天女山〜美し森を縦走した時に尾根筋の林縁部で撮影。

しもつけの紅たちそむと亡母恋ひし窓に小暗く梅雨ふりつづく 中河幹子



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1 説明と納得の  
医療

2 多職種の連携

3 「ここちよさ」の追求

4 社会参加の推進

# 一日看護師体験



一日看護師体験が6月11日に行われ、白根高校と韮崎高校の学生さんが12名参加しました。白衣に身を包み、各病棟に分かれて血圧測定や患者さんとの会話を体験し、午後からは作業療法室で風船バレー大会をしました。参加者の感想を紹介します。

中込朝日さん…インターネットでの調べ学習では分からない事がたくさん学べたので、体験することができ良かったです。

長田さん…患者さんの髪を乾かしたり、会話をしたりと、普段ではできないような体験ができてよかったです。

西山聖菜さん…看護師の仕事が体験できる良い機会になって良かったです。患者さんとふれ合えて楽しかったです。

茅野文香さん…実際に看護師が働く現場を見て、大変な仕事もあるけれど、とてもやりがいのある仕事だと思えました。

依田胡桃さん…患者さんと色々な話ができ、血圧測定などもさせていただき、とてもいい体験になりました。

田中美羽瑠さん…看護体験を通して、いろいろなことが学べてよかったです。



沢登瞳さん…一日看護師体験をして、沢山の事を学べた。大変でしたが、貴重な看護体験ができ、進路選択に生かしたい。

深沢紗希さん…今回一日看護師体験に参加して、看護という仕事に深く関わる事ができ、私にとって良い体験になりました。

大久保麗音さん…今回の一日看護師体験を通して、様々なことを学ぶことができたので良かったです。

入倉彩倅さん…一日看護師体験をして、患者さんへの接しかたや、沢山のことを学ぶことができて楽しかったです。

丹澤一瑳さん…今回の体験を通して、より深い看護の仕事を知ることができました。でもまだまだ色々を知っていききたいです。

帯金日陽さん…今回の体験で、看護師について深く学ぶことができました。体験したことを進路などに活かしていきます。

## ＋クレル棟 勉強会 第2回 おむつの当て方・選び方

昨年9月に続き王子ネピア株式会社磯山佳与子様をお招きし、第2回おむつの当て方・勉強会を6月5日クレル病棟において行いました。

昨年の勉強会より患者様に合ったおむつを選び使用しましたが、まだまだ改善点が多く今回の開催となりました。商品の機能を最大限に活かすため間違った代表的なケースとして次の5点を中心に学びました。

- (1) 何枚も重ねて使う。
- (2) 排尿回数(量)に、見合わない小さなパッドの頻回な交換に追われている。
- (3) かぶれを防ぐために小さなパッドを頻回に交換する。
- (4) 夜中におむつを交換する。
- (5) おむつを引っ張って位置を修正する。



(1) 尿もれや尿量が多いからと、尿取りパッドを重ね使いしていませんか? おむつや尿取りパッドのバックシートは、尿を通さないのも重ねても吸収量は変わりません。むしろおむつや尿取りパッドの多量使用は、肌との間に隙間を作り、モレやズレの原因になります。おむつや尿取りパッドの使用は、それぞれ1個ずつにとどめるのがベストです。

(2) サイズや吸収量を見極め、パッドを上手に使い分けましょう。人の飲食量がそれぞれ異なるように、排泄物の量も個人によってさまざま。そのため使用者様に合わせたおむつの使い分けが必要となります。排泄量に対して多すぎる、あるいは少なすぎる尿取りパッドは、モレや肌トラブルの原因になります。排尿日誌などを利用し、使用者様にとって適切なおむつ、尿取りパッドを選びましょう。

(3) (4) (5) は次回書くこととして、以上の点に注意し、おむつを正しく使えば、おむつ交換もスムーズに進み、ケアの質が向上します。安心とゆとりのあるケアを行いましょ。



## 平成29年度 目標管理発表会

### 最優秀賞

- B P S Dサマリーを作成しその人に合った関わり方を退院先施設へ情報提供する  
佐野喜久美 (リスタート病棟)  
齋藤 隆広 (作業療法グループ)

### 敢闘賞

- 知的障害を持ち解離性・転換性症状がある患者様との関わり方の検討  
秋山あけみ (ブリエ病棟)
- 入浴業務を改善し、利用者中心のケアを実現させるための土台作りをする  
樋口 奈美 (関西老健保健センター)
- 季節の作品を2ヶ月に1回患者様と作成し、病棟や文化展で展示する  
清水 智彦 (リスタート病棟)

### 技能賞

- 栄養管理の流れと栄養補助食品のフローシートを作成する  
渡辺 佳代 (栄養グループ)
- ハンドマッサージを患者様のケアに取り入れ、その効果を明らかにする  
山宮富美子 (アスピール病棟)
- 生活の質の向上のために、在宅で行える運動プログラムを提供する  
須賀 美保 (アルプス訪問看護ステーション)

### 殊勲賞

- 電子カルテの移行に向けスタッフが対応できるように学習会を開催する  
慶野 進 (リスタート病棟)
- 老健での多職種による評価に基づいた薬剤の検討と薬歴管理の一元化  
藤原 恵美 (薬剤グループ)
- 介護福祉士を対象とした心肺停止時の対応勉強会の実施とマニュアルの作成  
小清水広志 (リスタート病棟)

## 平成29年度 目標管理発表会

当法人ではより良い病院・施設づくりのために、職員一人ひとりが一年間の目標を掲げ取り組んでいきます。平成29年度の取り組みの成果を発表する目標管理発表会が6月5日に開催されました。

今年10組(11名)が発表者として推薦されました。発表会では理事長、院長、グループマネージャーなどが審査員として最前列に並びます。多くの職員の参加もあり、緊張感のある雰囲気の中、発表会が始まりました。

これまでに何度か推薦されている職員も、今回初めて発表する職員もいました。日々の業務の中から生まれる疑問やひらめきから、模索・試行・努力を積み重ねて見出された成果であることが伝わってきました。

多職種多部署に渡る改善目標もあり、目標管理は職員全体で協力して行っていく意識が根付いており、法人内および患者様にも広く貢献できる取り組みであると改めて感じました。



# 山梨県精神科病院協会 スポーツレクリエーション大会



5月25日(金)、山梨県精神科病院協会が主催する第22回山梨県精神障害者スポーツレクリエーション大会に参加してきました。デイケア「フレンズ」からは、メンバー12名、スタッフ3名、合計15名が競技に参加しました。普段はなかなか見ることができない、メンバーの鬼気迫る真剣な表情が見られました。メンバーの一番の笑顔は、当院栄養グループ特製のお弁当を食べているときだったかもしれません。大きなケガもなく、心地よい疲労を感じながら、会場となった小瀬スポーツ公園体育館を後にしました。

# OTだより

## 下町花めぐり散歩



5月15日(土)『下町花めぐり散歩』に参加しました。今年で2回目を迎えるこの活動は、南アルプス市下町の皆様の企画です。この日開放していただいた個人のお宅で丹精込めて育てたバラなどのお花や日本庭園を歩いて拝見させていただきました。普段は車の通り道しか気がつかなかったのですが、路地に入ると素敵なお庭が一杯です。散歩しながらでしたので手にとって見ることもでき、立ち止まって写真を撮ることもできました。この日はとても暑い日でしたので、参加して頂いたお花は後日、ボランティアの方とクレル病棟の方で花壇に植えました。綺麗に育っており、楽しみが増え大勢の方が花見に来てくれています。

## よさこい舞



6月16日(土)芝生広場に「よさこいソーラン」を踊りに来てくれました。「よさこい舞羽」のメンバーは大人に加えて、6歳・7歳・8歳の女の子たちが4人、中学生が4人含まれ、「かわいい」「小さい子はいいね」「中学生は落ち着いているね」「笑顔がいいね」と皆さんからたくさん声援をうけ迫力のある踊りを見せてくれました。「舞羽」というグループ名もあっておそろいの衣装は背中に羽根がデザインされとても素敵でした。

この日は雨の予報でしたが雨も上がり芝生広場で行うことができましたのは、演技する皆様と観賞する皆様の願いが天に通じたのだと思います。

# デイケア Channel チャンネル

## 今月の デイケア活動紹介



《プログラム名》

カラオケグループ

《活動日》

木・金・土曜日

《活動内容》

人気のデイケアプログラムの一つです。自分が希望する曲をリクエストし、歌ったり、聴いたりするプログラムです。ストレスの発散や自己表現としての活動に加え、他の人に認めてもらう体験につなげている方もいます。歌う人も、聴く人も、気持ち良く過ごすことを大切に、「お互いを理解する時間」にしています。

《問い合わせ》

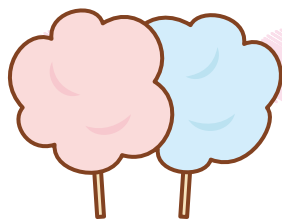
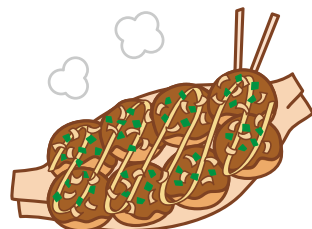
興味がある方や参加希望の方はお近くのスタッフまでお知らせください。デイケアスタッフがうかがいます。





# ろうけん Times ★

今月は春祭りを開催しました。曇り空でしたが暑くなく丁度いい気温で、利用者様も長い時間、外に出ていられました。フライドポテト、やきそば、おでん、わたあめ等いろいろな食べ物があり、みんなおなかいっぱい食べて楽しみました。



## 地域連携室って…？

今回は、峡西病院の地域連携室について、精神保健福祉士の工藤和代子さんにお聞きしました。

## Q. 地域連携室ってどんなところ？

地域連携室とは、今年度当院に新たに創られた部署。5月からスタートしたばかりです。精神科病院での地域連携室、山梨県ではめずらしい試みなのではないでしょうか？というわけで、手さぐりしながら業務内容を固めているところであります。

## Q. どんな人がいるの？

スタッフは4名。内訳は、精神保健福祉士3名、看護師1名です。

## Q. どんなことをするの？

当院を受診される方や受診を検討中の方の相談支援を行うこと、当院と外部医療機関および関係諸機関との連携の強化、院内の外来医療に関わる部署間の連携を目的に立ち上げました。今まで、退院後のサポートを誰に相談したらいいかなど、本人・支援者にとって分かりづらい状況がありました。そこで、単なる「外来担当」でなく、部署として、その人が不在でも情報がきちんと共有され、伝達される。それが速やかに行われることで本人の利益につながることを目指し、開設されました。本人に分かりやすいということは、外部機関にとっても分かりやすい。連携がしやすい。まさに、地域連携室?! また、認知症相談対応と精神科相談対応と担当を分けました。

## Q. 読者のみなさんにひとこと！

まだスタートしたばかりの部署。ドタバタすることも多いかと思えます。温かい目で見守っていただき、「連携室があってよかった」と感じていただけるよう、スタッフ一同頑張っています。よろしくお願い致します。

## スタッフ紹介

・上田 譲二 (室長) ・川口 敦 (認知症担当) ・工藤 和代子 (精神担当) ・塩澤 千晶 (看護師)

◆電話:055-282-2151 (代表) (内線201) ◆FAX:055-284-4886 (代表) ◆場所:峡西病院 相談心理室内 (暫定)



間邊佳央里  
看護師  
(フレル病棟)

- ◆趣味…カラオケ
- ◆好きな場所…デイズニerland
- ◆抱負…早く仕事が覚えられ、患者様に安心安全な看護が提供できるように頑張ります。



米長 美奈  
看護師  
(アルプス訪問看護ステーション)

- ◆趣味…子どもの写真を撮ること
- ◆好きな色…オレンジ色
- ◆好きな言葉…一期一会



花形利江子  
介護福祉士  
(峡西老人保健センター)

- ◆出身地…甲府市
- ◆座右の銘…みんなちがって、みんないい。
- ◆好きな言葉…人生前向



佐藤百合子  
看護師  
(アルプス訪問看護ステーション)

- ◆出身地…神奈川県
- ◆好きな食べ物…焼き芋
- ◆好きな場所…富士山

新  
入  
社  
員  
紹  
介

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

## ■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。



『すくハマってゐるものがない私の事』

ふと、自分の趣味は何かしら？と考えてみました。編み物、読書、アニメ、ドラマ視聴……。確かに好きだしどれもこれもテンションは上がります。でも、深みにハマっているのかといえばそうでもない、好きでやっている人と話してみると自分はちがう気がするのです。例えば編み物なども延々と編み続けることも出来ないですし、途中であきてしまいます。先日会った方は、テレビを観ながらでも編み棒を離さないのだから。趣味を超えてプロ？

私の趣味

みません。これは趣味と言つてはいけない気がします。結婚してからは、子育てに追われる日々で趣味などというものは遠かったように思います。最近では、珈琲を色々な種類飲む。映画をたくさん観る。主人と二人で自衛隊の基地をみに行く。どれもこれも好きなことばかりです。考えてみた結果、私は興味を抱いた物に手を出すのが趣味なのだと思いつかしました。自分を刺激してくれる楽しい事にふれるのは幸せです。これからもこの趣味を続けて行きたいです。

老人保健センター

秋山 裕子

万華鏡

私が入社して19年目。この4月、上の子が高校1年生、真ん中の子が中学2年生、下の子が小学6年生になりました。

下の子は4年程前より「よさこい」を始め、週2回の練習を休まず続けています。月に数回イベントへの参加や施設訪問などがあり、信玄公祭への参加もしました。真ん中の子は相撲が好きで、祖父とテレビで相撲観戦をしていましたが、稀勢の里引退後は相撲への熱が冷めてしまったようです。その後はプロレス好きに

なつたようで、アイメッセでプロレス観戦をしました。上の子は甲府の学校へ行くことになり、毎朝7時には身延線の電車に乗っています。そのため私は5時過ぎには起き、弁当作りに励んでいます。

先日、上の子が慣れない高校生活の中、「ホームステイの受け入れを希望してみたい」と言い出しました。私は「英語がしゃべれないから」ととにかく反対。けれど旦那は「おもしろそうだ」と、なぜか賛成。なんとか反対できないものかと考えた私は、旦那の両親と同居しているため「祖父母に聞いてみて」と粘りましたが、そこは旦那の両親、あっさり了解してしまいました。家族の中で私だけが反対している状況。「とりあえず希望だけでも、希望が通らないかもしれないし、決まったわけ

ではないし」と、しづしづ受け入れ用紙にサインしました。

その数日後、「決まったよ」との連絡。私の小さな願いは叶わず、一週間のホームステイの受け入れをすることにになりました。そうと決まれば準備は沢山あります。まずはスマホに翻訳アプリを入れて、学校の説明会に参加して。日曜日はどこに出掛けたら日本らしいのか、食事は何にすればいいのか。旦那は「何とかなる」と楽観的ですが、私は不安だらけです。

この原稿を書いているのが6月上旬、ホームステイに来るのが6月下旬。さて、どんな一週間を過ごしたのか。私を見かけたら、声を掛けてみてください。

リスタート病棟 佐野喜久美

「すくハマ」編集室

ツバメの巣

ツバメは、春になると日本にやってくる渡り鳥です。民家の軒先などに巣を作ってヒナを育て、秋にはまた南の国へ帰っていきます。

ツバメは穀物を食べないため、田んぼや畑の作物を荒らしません。蚊やハエやアブなどの昆虫を常食とするので、田畑の害虫をたくさん食べてくれます。そのため農村では、昔からツバメは「益鳥」とされ、捕獲したり、巣を壊したりすることを戒めてきました。

店先などで、ツバメの巣を見かけることもあります。天敵であるカラスや猫などからヒナを守るために、人の出入りの多い場所に巣を作って、人間の力を借りてヒナを守っているのです。ツバメが巣を作る場所は、人の出入りが多いと言つ象徴ともいえます。そこで、「ツバメが巣をかける家は縁起が良い」「ツバメが三度巣をかける」と長者になる」などと言われています。

(クワ)



今月の予定 **7月**

- 10日 院内研修 禁煙について
- 13日 新任者集合研修
- 26日 新任者研修  
「認知症疾患の理解」



**南山会 夏祭り**

**8月4日 (土)**

どなたでもご参加いただけます！  
お気軽にお越しください！

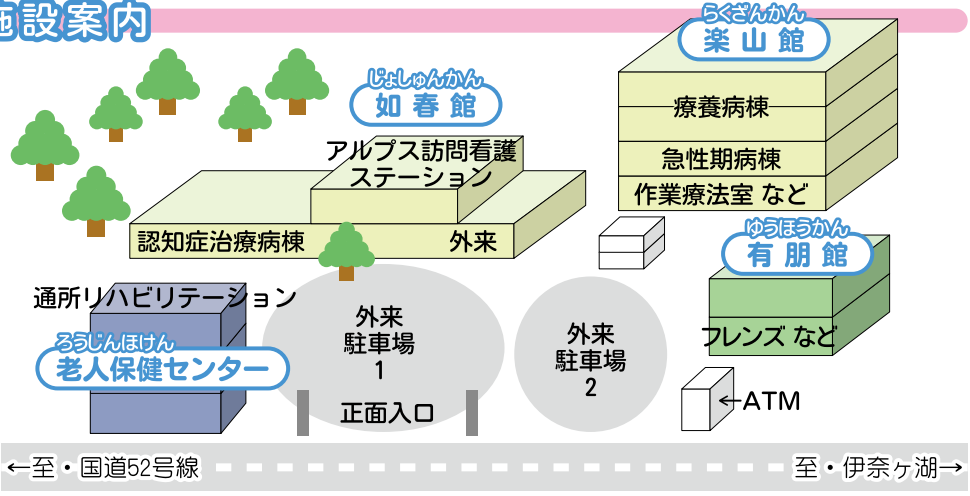
おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

太陽のサンサン照りか 海の日よ 渡辺 暁	里のぎに 郵便さんも 苦勞かな 長畑 章弘	柿の葉やひかり失なう梅雨曇り 塚原 光明	あじさいの花を見ながらウグイスの声 河野かほる	早朝の明り灯す家並みの 東の山に朝焼けで明け 大森真知子	友達は 山の中です 蜥蜴かな 今福 和人	梅漬ける 妹の腕 男腕 石川 理
----------------------------	--------------------------------	-------------------------	----------------------------	------------------------------------	----------------------------	------------------------

※掲載は五十音順です。

施設案内



交通案内

- JR中央線  
甲府駅より車で40分
- JR身延線  
東花輪駅より車で15分
- 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
- 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き  
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第371号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421  
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886  
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会**

\* 広報委員会 \* 若杉 雄司、齋藤 由布、坂本 幸廣、近藤 忠彦  
壘村 麻美、佐藤和加子、高根 綾、櫻井 千恵

次回372号も  
お楽しみに！